

「“美”“感”“創”的バランス これを上手に操る“達”から 感性は生まれる」

感性インタビュー

小松電機産業代表取締役 小松昭夫氏



島根県にある小松電機産業は、工場入り口にとりつける高速シートシャッターと水処理システムを主力とするメーカーであり、売上高経常利益率は常時20%前後から30%台で推移している典型的なベンチャー企業だ。ユニークな“感性”をもつ小松昭夫社長に、感性と経営について聞いた。

スチールからビールへ

—工場の出入り口に使われる高速シートシャッターおよび水処理の集中管理システムで、業績も順調ですね。

小松 最初の創業時は、元手もなかつたものですから、農業用水池のポンプ修理からはじめ、ポンプの販売、水処理の自動制御、ビルの配電盤など電気制御システムへと拡張してきたのです。昭和57年の『くにびき国体』開催で島根県にも急速にインフラ整備が進み、業績も順調に当時は拡大していき

ました。

—高速シートシャッターというのは、今までにない商品ですが、開発のきっかけは。

小松 水処理システムも需要が一段落し、ビル配電盤も業者とトラブルがあつて、新商品開発の必要に迫られていました。

そうしたら、以前勤めていた会社、これは農機のメーカーだったのですが、そこから工場の出入り口のシャッターを作つてくれないかといわれたことがきっかけです。最初はあまりやりたくないなあつたんですがね(笑)。

—シャッターというと、工場や店でスチール製というイメージがありますが。

小松 スチールは防犯にはすぐれているんですが、閉めると工場の中は暗くなってしまい、照明などの電気代もかかります。かといって開けっぱなしにしておくと寒いし風や埃も入ってくる。また当時フォークリフトが工場にどんどん導入されてきて、シャッターの開け閉めは、わざわざフォークリフトから降りてやらなければならなかつた。これも作業者にとつては面倒です。

そこで、素早く自動開閉し、か

つ透明なビニールシートのシャッタ

ターを開発しようということになっ

たのです。センサーを設置し、

フォーカリフトが来ると自動で開

閉します。スピードはスチールの

約20倍ほど速い。ただし防犯性は

ありませんので、朝来たときによ

りませんので、朝来たときによ

トールシャッターを開け、作業時

間中はスチールは開けっぱなしに

しておいて、シートシャッターを使

い、帰るときだけスチールシャ

ッターを下ろせばよいわけです。

——現在の売り上げは、

小松 今期7月決算で売上高は37

億円ほどの見込みですが、その7

割はこの商品の売り上げで、残り

が、浄水場、排水処理施設を集中

的に管理する水処理システムです。

——人を固定客にする企てとい

小松 そうですね。人々の要求に応

える、あるいは困

つていることの問題

解題をしてあげ

る、こうすること

は企業のやること

なのです。ところ

が、人というのは

移ろいやすいです

よね。要求、欲求

というのも次々と

——その意味では、企業のレベル

ではなく、事業のレベルにならな

いといけないわけですね。

小松 ベンチャーベンチャーベン

チャーベンチャーベンチャーベン

——企業ではなく、事業を興すた

小松 人々の目に見える欲求と違

つて、事業を興すには、声なき声

を聞かなければなりません。これ

化に成功されたわけですね。

小松 レベル的には生業、企業、

事業と3つあると思うんですよ。

生業というのは、まさしく生きる

ために必要なことをすることです

ね。次に企業です。「企」という字は、

人を止めると書く。そのための「く

わだて」ということですね。人を

固定客にしようと書く。そのための「く

わだて」ということですね。人を

固定客にようと書く。そのための「く

わだて」ということですね。人を



水処理システム「やくも水神」。『門番』に続く新しい商品である



同社売り上げの70%を占める高速シートシャッター「門番」。この「門番」が同社に飛躍的に成長させた

には、感性ということが必要になつてくるのです。感性がなければ、そういう事業や先を見通す目は生まれきません。

——感性はどうやつたら磨けるのでしょうか。

小松 キーワードは、「美」「感

「創」ですね。

“美”というのは、シンプルという意味です。シンプルなものは美しい。つまり生き方をシンプルにすることです。“感”というのは、感謝です。“創”というのは、蓄えたもので暮らすという意味です。この3要素をつなげるのが“遊”ということ。3要素をリンクさせ循環させるものです。

小松電機産業概要	
創業	1973年
設立	1981年
所在地	島根県八束郡八雲村
資本金	1億円
従業員	80名
売上高	35億5000万円(95.7月期)
経常利益	8億円(ル)

——感性ということが必要になつてくるのです。感性がなければ、そういう事業や先を見通す目は生まれきません。

——感性はどうやつたら磨けるのでしょうか。

小松 何かをやる場合に、自分のために、相手のため、周りのためと一生懸命といつても、自分が一生懸命ではないんですね。周りが見えていて、「あの人は一生懸命やつているね」「いや本当は怠けていますよ」これが本当の一生懸命です。そうするとひとつくらいのない人が出でてくる。これがS、スペシャリスト。次に同じスペシャリストでも経験を積むことによってその人独自の味が出でてくる。これがO、オリジナリティです。そして人生を考える。

死を迎えるにあたって、何に自分の命を燃やすのかそういうことを考えようになる。これが最後のP、パーソナリティです。

——感性が磨かれていても、やはり失敗は避けられない?

小松 失敗というのは途中であき



い。事業というのは興せない。未 来を見通す力も養われないという ことです。また人間とは何かとい う哲学、歴史、自然こういうものに接しないと、見えてこないですね。

——具体的にはどうすればよいの でしょうか。

小松 V・S・O・Pといつてい ますが、Vはバイタリティです。

とにかく無我夢中で一生懸命やる。一生懸命といつても、自分が一生懸命ではないんですね。周りが見

ていて、「あの人は一生懸命やつて いるね」「いや本当は怠けていますよ」これが本当の一生懸命です。そうするとひとつくらいのない人が出でてくる。これがS、スペシャリスト。次に同じスペシャリストでも経験を積むことによってその人独自の味が出でてくる。これがO、オリジナリティです。そして人生を考える。

死を迎えるにあたって、何に自分の命を燃やすのかそういうことを考えようになる。これが最後のP、パーソナリティです。

——感性が磨かれていても、やはり失敗は避けられない?

小松 失敗というのは途中であき

ん楽しく愉快に人生を過ごせるか、それを考へるんですね。

途中でやめるから失敗になる

らめてやめるから失敗になるんで すよ。ある高い目標を設定して、それを実現するために身近なところをクリアしていきます。その過 程ではいろいろな障害が生じてき ます。壁も出てきます。しかしあきらめずに方法を考えればあるん ですね。ただ自分だけの力では無 3つ相手があるとします。何にい ちばんプライオリティを置くかに よつても分かれます。

小松 何かをやる場合に、自分のために、相手のため、周りのためと一生懸命といつても、自分が一生懸命ではないんですね。周りが見

ていて、「あの人は一生懸命やつて いるね」「いや本当は怠けていますよ」これが本当の一生懸命です。そうするとひとつくらいのない人が出でてくる。これがS、スペ

シャリスト。次に同じスペシャリ

ストでも経験を積むことによつて

自分が3番こういう人もいる、事

業を行なう人は、最後のタイプだ

と思います。それぞの役割分担

があり、適材適所でいいと思うの

ですね。ただし経営者、あるいは

事業を興す者にとっては、さらに

感性が必要だということですね。

そういうものがないと、社会に

おける声なき声がわからないわけ

ですから。

——感性が磨かれていても、やは

り失敗は避けられない?

小松 失敗というものは途中であき

らめてやめるから失敗になるんで すよ。ある高い目標を設定して、それを実現するために身近なところをクリアしていきます。その過 程ではいろいろな障害が生じてき ます。壁も出てきます。しかしあきらめずに方法を考えればあるん ですね。ただ自分だけの力では無 3つ相手があるとします。何にい ちばんプライオリティを置くかに よつても分かれます。

小松 何かをやる場合に、自分のために、相手のため、周りのためと一生懸命といつても、自分が一生懸命ではないんですね。周りが見

ていて、「あの人は一生懸命やつて いるね」「いや本当は怠けていますよ」これが本当の一生懸命です。そうするとひとつくらいのない人が出でてくる。これがS、スペ

シャリスト。次に同じスペシャリ

ストでも経験を積むことによつて

自分が3番こういう人もいる、事

業を行なう人は、最後のタイプだ

と思います。それぞの役割分担

があり、適材適所でいいと思うの

ですね。ただし経営者、あるいは

事業を興す者にとっては、さらに

感性が必要だということですね。

そういうものがないと、社会に

おける声なき声がわからないわけ

ですから。

——感性が磨かれていても、やは

り失敗は避けられない?

小松 失敗というものは途中であき

らめてやめるから失敗になるんで すよ。ある高い目標を設定して、それを実現するために身近なところをクリアしていきます。その過 程ではいろいろな障害が生じてき ます。壁も出てきます。しかしあきらめずに方法を考えればあるん ですね。ただ自分だけの力では無 3つ相手があるとします。何にい ちばんプライオリティを置くかに よつても分かれます。